

## MR I 検査における造影剤投与に関する同意書

MRI 検査当日、造影剤という検査薬を使用します。この造影剤を使った MRI 検査を受けられる方には、あらかじめ同意書を頂いています。納得されましたら、下記の同意書に署名をしてください。同意書を提出された後でも検査をキャンセルすることができます。

### 【造影剤とは】

診断にあたって情報量を増やすために造影剤により画像にコントラストをつけます。MRI 検査では、ガドリニウム造影剤が使われます。腎機能が正常であれば、注射後 6 時間で 80%以上が腎臓から尿として排泄され、やがて全てが体外に排泄されます。

### 【目的・利点】

静脈内に注入された造影剤は、血管を介して全身の臓器に分布します。したがって、血管腔の状態、臓器の血流状態および病変での造影剤の分布がわかり、画像診断上、重要な情報となることがあります。

### 【副作用とその対応】

最近では、副作用の少ないものが開発されていますが、それでも全く危険性をなくすことはできません。軽微な副作用を含めて、1～2%の患者さまに何らかの副作用が生じます。ほとんどは気分が悪くなったり吐いたり、じんま疹が出たり、顔がほてったりといった軽い、一過性のものです。しかし、まれに冷や汗が出たり、胸が苦しくなったりすることがあります。また、4万人に1人程度の割合で、ショックなどの重篤な副作用を生じることがあります。極めてまれですが、死に至る報告もあります。検査中に何かあれば至急対処します。予期せぬ事態に対しては、担当医と主治医が最善の対処を致します。検査終了後に生じる遅発性の副作用はないといわれていますが、何か異常が現れた場合には、すぐにかかりつけ医へご連絡ください。(休日・夜間の連絡先：富士市立中央病院 0545-52-1131 救急外来)

### 【注意点】

1. アレルギー体質の方は副作用を生じる可能性が約 3.8 倍、喘息の方は約 1.5 倍多いといわれています。また以前、造影剤で具合が悪くなったことがある方も高い頻度で副作用が生じる可能性があるといわれています。重い腎臓の病気のある方も腎臓からの排泄が遅くなる可能性があります。次に該当する方は造影検査の際に主治医および担当医にお知らせください。

- (1) 以前、造影剤で具合が悪くなったことがある。
- (2) 本人または血縁者に喘息やアレルギーがある。
- (3) 重い腎臓の病気がある。

2. 造影剤は静脈内に注射しますが、静脈には個人差があり造影剤が血管外に漏れやすい体質の方がおられます。漏れた造影剤は時間とともに吸収されますが、漏れた量によっては必要に応じ処置を行う場合があります。

(検査日 令和 年 月 日)

今回、MR I 造影検査にあたり、

(令和 年 月 日 医療機関名 \_\_\_\_\_ 医師氏名 \_\_\_\_\_ (自署))

(立会い看護師氏名 \_\_\_\_\_ (自署))

より検査内容とその必要性について十分な説明を受け、了解しましたので検査の実施をお願い致します。

(あて先) 富士市立中央病院 院長

令和 年 月 日 患者自署 住所 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

本人が同意の意思を表明できませんので、本人に代わり私が同意いたします。

代理人自署 住所 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_ (続柄 \_\_\_\_\_)

# 造影MRI検査を受けられる方へ

## 《 安全に検査を受けるためのご案内 》

### 検査前および検査中の注意

- ・上下腹部の検査を受けられる方は、検査前の一食（午前の方は朝食、午後の方は昼食）を食べないようにしてください。（血圧などの薬はお飲みください）
- ・女性の方で、頭部・頸部・眼窩部の検査を受けられる方は、化粧をしないでください。  
特に目の周りの化粧は避けてください。
- ・心臓ペースメーカー・人工内耳・義眼の方は検査できません。
- ・金属製の装飾品や金属のついた衣類・補聴器・キャッシュカードは検査室に持ち込めません。

### 〈 糖尿病の患者様へ 〉

- ・検査のために絶食されている患者さまは、インスリンを打たずに、糖尿病の薬は飲まないでご来院ください。自己血糖測定器・インスリン・内服薬は必ずご持参ください。

### ご 案 内

- ・耳・口・眼のご不自由な方はお申し出ください。
- ・検査予約時間は目安ですので、若干前後することがあります。
- ・検査時間は約40分から1時間程度ですが、検査部位や方法によって異なります。
- ・検査が始まると大きな音がしますが、身体を動かさないようにしてください。
- ・造影剤は静脈内に注射しますが、静脈は個人差があり造影剤が血管外に漏れやすい体質の方がおられます。漏れた造影剤は、時間とともに吸収されますが、漏れた量によっては必要に応じて処置を行う場合があります。

### 検査後の注意

- ・飲水制限のない方は、造影剤の排泄を促進するため、水分をおとりください。
- ・帰宅してから、まれに気分が悪くなったり、じんましん、かゆみが出たりすることがあります。その時はかかりつけ医へご連絡ください。